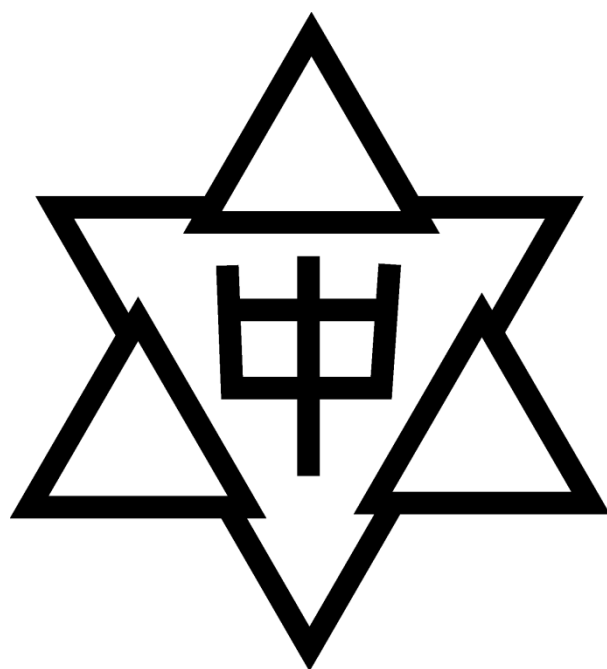


令和7年度

学習の手引き

＜ シラバス ＞



佐呂間町立佐呂間中学校

年	番	名前
---	---	----

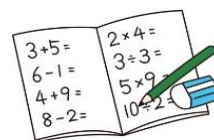
<目 次>

◎ 学習の手引き	2
1 自学・自習の構造	
2 家庭学習の基本	
◎ 「自ら学ぶ学習の手引き」	3
1 わたしたち佐呂間中学校の目標	
2 授業の心構え	
3 授業の約束	
4 授業前の基本的なこと	
5 授業での学習の仕方	
6 本年度の定期テストの実施教科	
◎ 評価・評定について	4
◎ □国語	6
◎ □社会	10
◎ □数学	14
◎ □理科	18
◎ □英語	22
◎ □音楽	26
◎ □美術	30
◎ □保健体育	34
◎ □技術	38
◎ □家庭	42

学習の手引き

1 家庭学習マニュアル

かていがくしゅう 家庭学習マニュアル



小学校

まずは「学年×10分」を
目標にしてみましょう

おすすめ学習方法

1年生

10分

2年生

20分

3年生

30分

4年生

40分

5年生

50分

6年生

60分

今日の宿題が終わったら

おんどく かんじ けいさん
「音読」「漢字」「計算」
に取り組みましょう。

おんどく かんじ けいさん ぐわ
「音読」「漢字」「計算」に加えて、
クロームブックを活用したり、市販
の問題集を活用したりして、自分
なりに学習を進めましょう。

中学校

1年生

70分

2年生

80分

3年生

90分

じゅぎょう りかい ないよう
授業で理解できなかった内容の
復習や、苦手としている教科や単元
など、課題となることを分析して問題
演習に取り組みましょう。

○ルールを決めましょう
「自分なりのルール」を
決めて取り組みましょう。

(例)

- ・10問は問題に取り組む
- ・1ページは取り組む

○勉強場所

集中して取り組める環境
で学習しましょう。

(例)

- ・～ながら勉強は×
- ・おすすめは居間
(家族に見られていること
で集中できる)

○クロームブックを活用しよう

授業で使用する以外
にもこんな方法がありま
す。

(例)

- ・eライブラリに取り組む
- ・授業で学習したことを
調べてさらに深く学ぶ

はじめよう 家庭学習

「自ら学ぶ学習の手引き」

1 わたしたち佐呂間中学校の目標

- ① 進んで学ぶ生徒～創造性豊かで真理の探究に励む生徒～
- ② 思いやりのある生徒～情操に富み、正義と敬愛を重んずる生徒～
- ③ たくましい生徒～体力の向上を目指し、明るく健康な生徒～

2 授業の心構え

- ① やる気を持って授業に臨みましょう。
- ② 授業は受け身にならず、主体的に参加しましょう。
- ③ 頭だけでなく、「手で書く」「耳で聴く」「口で言う」など五感のすべてを使いましょう。
- ④ 分からないことは遠慮をせずに質問しましょう。
- ⑤ 授業がよくわかるように、予習を心がけましょう。
- ⑥ 授業の基本は、まず先生や友達の話をよく聴くことです。集中しましょう。

3 授業の約束

- ① 学習用具をよく調べ、忘れ物をしない。
- ② 授業前（休み時間）に学習用具を準備する。タブレットは、先生の許可を受け起動する。
- ③ 忘れ物をしたときは授業前に教科の先生に申し出る。
- ④ チャイムが鳴る前に着席し、チャイムと同時に号令をかける。
- ⑤ 始業・終業は心をこめて礼をする。
- ⑥ 授業中は私語をしない。
- ⑦ ノートは工夫し、きちんととる。（要点は色ペンを使ったり、線を引いたりする。）
- ⑧ 常に姿勢を正し、許可なく席を立たない。
- ⑨ 実験用具や教材・学習用具は大切に使う。また、自分のものには名前を書く。

4 授業前の基本的なこと

- ① 夜更かし、朝寝坊、朝食抜きなどをせずに体調を整える。
- ② 着替えや教室移動は休み時間中に済ませ、チャイムが鳴る前に着席する。
- ③ 学習用具の準備をしっかりとる。
- ④ 予習をし、疑問点や学習のポイントを逃さない。
- ⑤ 具合が悪いときや怪我をしたときは保健室で見てもらい、授業の先生に報告する。

5 授業での学習の仕方

- ① 聴く…私語をつつしみ、要点を整理して集中して話を聴く。
- ② 読む…はっきりした声で読む。
- ③ 話す…はきはきと相手に分かるように話す。
- ④ 書く…板書事項を書き写すことにくわえ、自分で分かりやすいように工夫して書く。
- ⑤ 整理…後片付けをしっかりとし、次の授業に支障がないようにする。

6 定期テストの実施教科

前期中間	全学年	5教科（国語・社会・数学・理科・英語）
前期期末	全学年	5教科（国語・社会・数学・理科・英語）
後期中間	全学年	5教科（国語・社会・数学・理科・英語）
学年末	全学年	5教科（国語・社会・数学・理科・英語）

※2023年度より定期テストは5教科のみ実施に変更しています。

※芸能科目（音・体・美・技・家）のテストは必要に応じて授業内実施。

※欠席者は、受験有無を確認します。受験する場合は、別日に行います。受験しない場合は「0点扱い」となります。（出席停止を除いて実施した場合は参考点扱いとなります。）

評価・評定について

中学校の通知票に記載する「評価・評定」は、学期末・学年末時点での学習状況をお知らせするためのものです。次の学期や次の学年ではどんな学習に力を入れればよいのか、目標を立てるために活用してください。

（１）評価とは

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の各観点の学習状況の達成率を、5段階（A・B・C・D・E）で表したものです。

学習の達成率（％）	カッティングポイント （評価の区切り目）	評価
100% ～ 85%以上	85%	A 特に程度の高いもの
85%未満 ～ 70%以上	70%	B 十分満足できる
70%未満 ～ 45%以上	45%	C おおむね満足できる
45%未満 ～ 20%以上	20%	D 努力を要する
20%未満 ～ 0%以上	—	E 一層努力を要する

(2) 評価とは

各教科の学習状況を総合的に判断して、5段階（5・4・3・2・1）で算出したものです。

3観点の達成率を合計して300点満点に換算（1％＝1点）して算出します。

3観点の合計	カッティングポイント （評価の区切り目）	評価	評定
300点 ～ 255点以上	85%（255点）	5	特に程度の高いもの
255点未満 ～ 210点以上	70%（210点）	4	十分満足できる
210点未満 ～ 135点以上	45%（135点）	3	おおむね満足できる
135点未満 ～ 60点以上	20%（60点）	2	努力を要する
60点未満 ～ 0点以上	—	1	一層努力を要する

カッティングポイント前後5％以内の評価には、＋・－がつきます。学習の励みにしてください。

例）3 観点合計が 254 点 → 評価 4+（もう少しで5）

例）3 観点合計が 257 点 → 評価 5-（もう少しで4）

各学年の学年末評価が、高校入試の調査書に記載されます。

※評価は定期テストの結果だけではなく、提出物、小テストなど多くの材料から評価・評価を算出します。詳細は、授業はじめの各教科の先生の話をよく聴いてください。

(3) 学校の記録用（要録）の評価

佐呂間中学校では、成績をよりわかりやすくし、今後の学習に生かしてもらえるように上記の方法で表記していますが、学校の記録（要録）には国立教育政策研究所に基づき、次のように区別して記入しています。「十分満足できる」状況と判断されるもの：A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：B 「努力を要する」状況と判断されるもの：Cと表しています。

※表記の違いによる不利益は生じません。また、高校には評価（5～1）のみ示されます。

学校の 記録用	佐呂間中学校の 通知表記載の評価基準	評 定	基 準
A	A	5	十分に満足でき、特に程度が高い。 85%以上
	B	4	十分満足できると判断される。 85%未満 ～ 70%以上
B	C	3	おおむね満足できる。 70%未満 ～ 45%以上
C	D	2	努力を要する。 45%未満 ～ 20%以上
	E	1	一層努力を要する。 20%未満

国 語	
予 習	① ふだんから「ことば」に関心を持つ。 ・話すこと…敬語を意識した丁寧な言葉遣いをする。 ・聞くこと…最後まで話を聞く。わからないことを質問する。 ・書くこと…日記・ブログ・感想・作文（書いた分だけ作文能力が成長します）
授 業	① 持ち物は 10 分休みの間に準備する。忘れた場合は、授業前に申し出る。 （教科書・ノート・便覧・タブレットを机に準備しておく） ② 質問等に対しては、まずは自分で考える。 ③ 指名された場合、分からないからといって無言でいない。（「わかりません」は最終手段。） ④ 先生が板書した内容は特別な場合がない限りノートに書き写し、その他必要な内容を付け加えてノート作りを工夫する（自分だけが読める字ではなく、点検する人が読める字で書く）。
復 習	① ワークの宿題は、マルつけまで完了させる。 ② 授業中に終わらなかった課題を済ませる。（ロイロや Google classroom の課題も同様）
そ の 他	① 「ことばの知識」は意識して増やしましょう。 ② 本を読む。（新聞でもなんでも良い。とにかく文章を読むこと。）好きな作家や作品、あるいは人生に大きな影響を与えるような作品に出会えるかもしれない。 ③ 学力テスト対策は、国語便覧をしっかりと読み返すこと。定期テスト対策は、ノートとワークをしっかりと読み返すこと。

学習内容および評価規準（1年国語）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て	
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法
		言葉に出会うために 1 学びをひらく 2 新しい視点で 情報×SDGs 【書写】漢字の筆使い 3 言葉に立ち止まる いつも本はそばに 【書写】楷書に調和する仮名 4 心の動き 5 筋道を立てて 【書写】点画の組み立て方 6 いにしへの心にふれる 【書写】部分の組み立て方 7 価値を見いだす いつも本はそばに 【書写】行書の特徴 8 自分を見つめる 学びを深める		知識・技能 - 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 - 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 - 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 - 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	定期テスト 小テスト 漢字テスト 授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容
				思考・判断・表現 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合う内容を検討している。 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	定期テスト 小テスト 授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容
				主体的に学習に臨む態度 - 積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって報告しようとしている。 - 粘り強く表現を工夫し、今までの学習を生かして対話しようとしている。 - 粘り強く自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。 - 粘り強く文章の要旨を把握し、学習の見通しをもって理解したことを報告しようとしている。	授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容

学習内容および評価規準（2年国語）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て	
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法
		1 広がる学びへ 2 多様な視点から 【書写】点画の省略 3 言葉と向き合う 情報×SDGs いつも本はそばに 【書写】筆順の変化		知識・技能 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ・意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期テスト 小テスト 漢字テスト 授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容
		4 人間のきずな 【書写】行書に調和する仮名 5 論理を捉えて 6 いにしへの心を訪ねる 【書写】行書と仮名の調和 7 価値を語る いつも本はそばに 【書写】楷書と行書の使い分け		思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において, 資料や機器を用いるなどして, 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において, 表現の工夫とその効果などについて, 読み手からの助言などを踏まえ, 自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・「読むこと」において, 文章全体と部分との関係に注意しながら, 主張と例示との関係などを捉えている。	定期テスト 小テスト 授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容
		8 表現を見つめる 学びを深める		主体的に学習に臨む態度 ・積極的に表現を工夫し, 学習課題に沿って提案しようとしている。 ・積極的に自分の文章の改善点を見だし, 学習課題に沿って意見を述べる文章を書こうとしている。 ・積極的に内容を解釈し, 学習課題に沿って理解したことを説明しようとしている。	授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容

学習内容および評価規準（3年国語）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て	
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法
		1 深まる学びへ 2 視野を広げて 【書写】全国文字マップ 3 言葉とともに 情報×SDGs いつも本はそばに 【書写】文字の使い分け 4 状況の中で 5 自らの考えを 6 いにしへの心を受け継ぐ 7 価値を生み出す いつも本はそばに 【書写】三年間のまとめ 8 未来へ向かって 学びを深める		知識・技能 - 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 - 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	定期テスト 小テスト 漢字テスト 授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容
				思考・判断・表現 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。	定期テスト 小テスト 授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容
				主体的に学習に臨む態度 - 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題に沿って提案しようとしている。 - 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って批評する文章を書こうとしている。 - 粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。	授業中の取組 ノート記述 提出課題の取組 発表・発言の内容

社 会	
予 習	次の時間に勉強するところを事前に読む。 ※読んで理解できなかったところは、先生に質問する
授 業	① 授業の持ち物を忘れないようにする。 教科書・ファイル・ワーク(答もはさむ)・地図帳 ※あったら良いもの…蛍光ペン(教科書に印をつけます) ② 忘れ物をした場合は、授業開始前までに教科の先生に申し出る (謝る→忘れた理由→どうするのか、を伝える)。 ③ 授業に関係のない話はせず、授業に関する発言をしていこう。 ④ 予習や授業の中で分からなかったところを、積極的に質問しよう。 ⑤ 間違えてもいいので、自分の考えを書いたり、発言しよう。 ⑥ クラスメイトの質問や意見などをしっかり聞く。からかったりしない。 ⑦ 提出したワークにふせんがついている部分は、修正して再提出しよう (再提出したら、成績も更新されます)
復 習	① 授業でやった所の教科書を読み直す。図やグラフも見る。 ② ワークをとく。必ず色ペンで答え合わせをする。 間違えたり、わからなかった所は、色ペンで正解を書き込む。 色ペンで、間違えた問題に☆印、わからなかった問題に②印をつけておく (印のついている問題が、自分の弱点です) ③ 週末や月末に、印のついている問題をiraない紙にといて、答え合わせをする (弱点の補強が大切です)
発 展	教科書の単元が終わったら、自分でまとめノートをつくと、力がつきやすいよ！ ① 地理 自分で略地図(大きめに)をかいて、そこに地名・都市名・農業・工業・気候などの特徴を書き込もう。 ② 歴史 歴史上の人物画を書いて、その人物に関係することを書こう。 時代ごとに出来事などをまとめ、イラストなども入れると良いです。 ③ 公民 表やグラフを書き込んでまとめると、よいです。

学習内容および評価規準（1年社会）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て				
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法		
前 期	4	第1編 第1章 世界の構成 チャレンジテスト	中間	知識及び技能	○日本や世界の様々な地理的特色を理解しているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など		
	5	第2章 日本の地域構成			○日本の歴史の大きな流れを理解しているか			
	6	第2編 第1章 世界の人々			○各時代の特色を理解しているか			
	7	第1章 歴史のとらえ方 第2章 1 人類の登場 2 東アジアの中の倭 3 中国にならった国家 4 展開する天皇・貴族	期末	知識及び技能	○諸資料から情報を適切に読み取ったり、活用できているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など		
	8	政治						
	9	学習のまとめと表現 チャレンジテスト						
			第2章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州		思考力、判断力、表現力等	○地理的特色や地理的な課題の解決に向けて、様々な角度から適切に考えているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など	
				○歴史上の出来事の意味や時代の特色などを、様々な角度から適切に考えているか				
				○考えたことを説明したり、それをもとに適切に話し合いをしているか				
後 期	10	4 北アメリカ州 第3章 武家政権 1 武士の世	中間	主体的に学習に取り組む態度	○よりよい社会をつくるために、課題を主体的に追究し、解決しようとしているか	ワーク提出 ワークシート 知識・思考の定着度合い(定期テストの達成率) 授業への取り組みの様子など ※居眠りや私語・取り組まない等は、減点になります		
	11	2 武家政権の内と外 3 人々の結び付き 学習のまとめと表現						
	12	第4章 武家政権の展開 1 大航海 チャレンジテスト						
		2 戦乱から全国統一 世界の諸地域	期末					
	1	5 南アメリカ州 6 オセアニア州 チャレンジテスト						
	2 3	第3編 第1章 地域調査 第2章 日本の特色						

学習内容および評価規準（2年社会）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て			
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法	
前期	4	第3編 第1章 地域調査 チャレンジテスト	中間	知識 及び 技能	○日本や世界の様々な地理 的特色を理解しているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など	
	5	第2章 日本の特色 3 武士による全国支配			○日本の歴史の大きな流れ を理解しているか		
	6	4 天下泰平の世の中 5 社会の変化			○各時代の特徴を理解して いるか		
	7	学習のまとめと表現 第3章 日本の諸地域 7 北海道地方		思考力、 判断力、 表現力等	○諸資料から情報を適切に 読み取ったり、活用でき ているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など	
	8	1 九州地方 チャレンジテスト					
	9	2 中国・四国地方 3 近畿地方					
	後期	9	4 中部地方	期末	主体的に学習に 取り組む態度	○よりよい社会をつくるた めに、課題を主体的に追 究し、解決しようとして いるか	ワーク提出 ワークシート 知識・思考の定 着度合い(定期 テストの達成率) 授業への取り組 みの様子など ※居眠りや私 語・取り組まな い等は、減点に なります
		10	1 「近代化」 2 開国と幕府の終わり				
		11	3 新しい価値観 4 近代国家への歩み				
後期		11	5 帝国主義と日本	中間	主体的に学習に 取り組む態度	○歴史上の出来事の意味や 時代の特徴などを、様々 な角度から適切に考えて いるか	ワークシート 小テスト 定期テスト など
		12	6 アジアの強国 チャレンジテスト 学習のまとめと表現			○考えたことを説明した り、それをもとに適切に 話し合いをしているか	
		1	5 関東地方				
		2	6 東北地方				
		3	1 第一次世界大戦				
		3	2 高まるデモクラシー 3 軍国主義	期末			

学習内容および評価規準（3年社会）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て			
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法	
前 期	4	第5章 二度の世界大戦本 1 第一次世界大戦 2 高まるデモクラシー 3 戦争に向かう世論 チャレンジテスト	中間	知識及び技能	○日本の歴史の大きな流れを理解しているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など	
	5	4 惨禍 学習のまとめと表現			○各時代の特色を理解しているか		
		第6章 現在に続く日本			○人権尊重の意義、民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動の関わり、現代社会の特徴、国際社会について、個人と社会の関わりを中心に理解しているか		
	6	1 敗戦から立ち直る日本 2 世界の多極化 3 これからの日本と世界 学習のまとめと表現 歴史学習の終わりに			○諸資料から情報を適切に読み取ったり、活用できているか		
		第1章 現代社会					
	7	1 現代社会 2 伝統と文化 3 私たちがつくる社会 第2章 憲法					
		1 日本国憲法の成り立ち 2 基本的人権 3 私たちと平和主義 チャレンジテスト					
	8 9	第3章 暮らしと民主政治 1 民主政治と日本の政治 2 三権分立					
	後 期	10		3 地方自治と住民の参加 第4章 経済	期末	思考力、判断力、表現力等	○地理的特色や地理的な課題の解決に向けて、様々な角度から適切に考えているか
11		1 消費生活と経済活動 2 企業の生産のしくみ 3 市場のしくみ	○現代社会の課題や社会的事象の特色などについて、様々な角度から適切に考えているか				
		12	4 金融のしくみと財政 第5章 安心社会 1 社会保障 チャレンジテスト	○考えたことを説明したり、それをもとに適切に話し合いをしているか			
1			2 日本経済の課題 第6章 国際社会 1 国際社会の平和				
		2	2 国際社会が抱える課題 終章 未来の社会 1 持続可能な未来				
3			3年間のまとめ				
				主体的に学習に取り組む態度		○よりよい社会をつくるために、課題を主体的に追究し、解決しようとしているか	ワーク提出 ワークシート 知識・思考の定着度合い(定期テストの達成率) 授業への取り組みの様子など ※居眠りや私語・取り組まない等は、減点になります

数 学	
はじめに、数学の勉強の基本は「<u>反復練習</u>で解き方を理解すること」です。 数学は日々の努力の積み重ねが必要な教科です。ですから、<u>授業の内容が進んでいくにつれてどんどん分からなくなってしまうことがあります</u>。そのため、学校の授業と家庭での勉強について、次のことを参考にして取り組んでください。	
予 習	① 数学の場合、授業で勉強する教科書の次の時間に学習するところを読んだり、例題をノートにそのまま書き写してみよう。そして、どんな内容を学習するのか、疑問点などを見つけておき、次の日の授業に臨むようにするだけでいいです。
授 業	① 先生や友だちの話を集中して聞く。（これが一番大事！） ② 問題の解き方や考え方が分からないときは、必ず先生に質問して解決する。 ③ ホワイトボードに書いてあることをただノートに書き写すのではなく、自分で間違えそうなところや注意して覚えなければならないと思うところをチェックやメモをする。先生がなにげなくつぶやいたことなども可能な限り書いておく。あとで見直しても要点がわかりやすいノートにする。
復 習	① 数学の勉強で一番大切なのは家庭学習です。これを毎日コツコツとやればどんなに難しい問題でも解決できるようになります。 ② その日に学校で習った公式や問題をもう一度解いて理解できているかどうか確認する。 ③ 自分で買った問題集を解いて力試しをしてみる。 ④ その問題の解き方を誰かに教えられるようになること＝しっかり理解できているということです！

※ 家庭学習などで復習をしっかりやり、その日に習ったことを忘れないようにしましょう！反復が大切です。

※ 授業中はノートを書き写すだけではいけません。いくらキレイに書いても理解できていなければ意味がありません。内容を理解しつつノートをわかりやすく整理することが大切です。

学習内容および評価規準（1年数学）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前期	4	1章 「整数の性質」 ・整数の性質	中間 期末	知識・技能	正の数と負の数，文字を用いた式と一元一次方程式，平面図形と空間図形，比例と反比例，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数理的に捉えたり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	小テスト 定期テストなど
	5	2章 「正の数、負の数」 ・正の数、負の数				
	6	・加法と減法 ・乗法と除法 ・正の数、負の数の活用				
		3章 「文字と式」 ・文字の使用				
	7	・式の計算 ・式の活用				
	8	・数量の関係を表す式				
	9	4章 「方程式」 ・方程式とその解き方				
後期	10	・方程式の活用	中間 期末	思考・判断・表現	数の範囲を拡張し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素や構成の仕方に着目し，図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力，数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし，その特徴を表，式，グラフなどで考察する力，データの分布に着目し，その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	発表 小テスト 定期テストなど
	11	5章 「比例と反比例」 ・比例				
	12	・反比例 ・比例、反比例の活用				
		6章 「平面図形」 ・平面図形の基礎				
	1	・作図 ・図形の移動				
	2	・円とおうぎ形の計量				
		7章 「空間図形」 ・空間図形の基礎 ・立体の見方と調べ方 ・立体の体積と表面積				
	3	8章 「データの分析」 ・度数の分布 ・データの活用		主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度，多面的に捉え考えようとする態度を身に付けている。	発表 ノート・ワークへの取り組み 提出物 宿題 定期テストなど

学習内容および評価規準（2年数学）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て	
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法
前期	4	1章「式の計算」	中間	知識・技能	小テスト 定期テストなど
	5	・式の計算			
	6	・式の活用			
	7	2章「連立方程式」	期末	知識・技能	
	8	・連立方程式とその解き方			
	9	・連立方程式の活用			
		3章「1次関数」			
		・1次関数			
		・1次関数と方程式			
後期	10	・1次関数の活用	中間	思考・判断・表現	発表 小テスト 定期テストなど
	11	4章「平行と合同」			
	12	・平行線と角 ・合同と証明			
	1	5章「三角形と四角形」	期末	思考・判断・表現	
	2	・三角形 ・四角形 ・三角形と四角形の応用			
	3	6章「確率」 ・確率			
		7章「データの分析」		主体的に学習に取り組む態度	発表 ノート・ワークへの取り組み 提出物 宿題 定期テストなど
		・データの散らばり			
		・データの活用			

学習内容および評価規準（3年数学）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	1章 「式の計算」 ・多項式の乗法と除法	中間	知識・技能	数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	小テスト
	5 6	・因数分解 ・式の活用				定期テストなど
	7	2章 「平方根」 ・平方根 ・平方根の計算 ・平方根の活用	期末	思考・判断・表現	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	発表
	8 9	3章 「2次方程式」 ・2次方程式とその解き方 ・2次方程式の活用				小テスト 定期テストなど
後 期	10	4章 「関数 $y = ax^2$ 」 ・関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ の活用 ・いろいろな関数	中間	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。	発表
	11	5章 「相似な図形」 ・相似な図形				ノート・ワークへの取り組み
	12	・平行線と線分の比 ・相似な図形の面積の比と体積の比 ・相似な図形の活用	提出物 宿題			
		6章 「円」 ・円周角の定理 ・円周角の定理の活用	定期テストなど			
	1	7章 「三平方の定理」 ・三平方の定理 ・三平方の定理の活用				
	2	8章 「標本調査」 ・標本調査 ・標本調査の活用				
	3	中学3年間の総復習				

理 科	
予 習	① 教科書を読んで、次にやる内容、実験や観察で何をするか知っておく。 ② 実験や観察をするときの順序や方法を知っておく。 ③ 疑問やわからないことをまとめておく。
授 業	① 教科書・ノート・chromebook を忘れないようにしよう。 ② 授業は基本理科室で行います。休み時間のうちに移動をすませよう。 ③ 説明や指示をしっかりと聞こう。（特に、実験や観察には危険がともなうので） ④ 「覚えること」よりも「考えること」を大切にしよう。 ⑤ 答えを暗記するのではなく、常に「なぜ」とその理由を考えながら学習しよう。 ⑥ わからないことはその場で質問するか、あとで(テスト前や家庭学習後の次の日など)まとめて質問して、解決を目指そう。
復 習	① 教科書をよく読んで、大切なところをノートにまとめる。 ② 法則や原理を整理して、ノートに書き写し、しっかりと覚える。 ③ 実験の結果や法則・原理がなぜそのようになったのかを考える。 (結果だけをそのまま覚えこんでもダメ) ④ 実験のやり方や順序は覚えたか、その授業やその実験で大切なところは何か、 また分からないところが理解できたかを反省し、分からない部分は先生にあらためて質問する。 ⑤ ワークは1回だけでなく、時間をおいて2回目にチャレンジしてみる。 (1回目に間違ったところは理解できた？ 2回目は正しい答えが増えた？)
研 究	理科は身近なもの・ことがすべて説明できるようになりうる素晴らしい学問です。 まずは身近なもの・ことに興味を持つこと、そしてその事象がおもしろい！楽しい！と思えることが大切です。あれはなぜ起きるのか？これはどういうことなのか？興味を持ったり考えたり、いろんな資料や科学に関する本を読んだりするとおもしろいかもしれません。

学習内容および評価規準（1年）

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	
前 期	4 ～ 9	1 いろいろな 生物とその 共通点 2 身のまわりの 物質	中間 期末
後 期	1 0 ～ 3	3 大地の 成り立ちと変化 4 光・音・力	中間 学年 末

評 価 に あ た っ て		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・ 技能	[S]…その授業や事象(実験)にかかわることを、わかりやすく工夫し他者とかわりながら説明(実施)することができる。 [A]…その授業や事象(実験)にかかわることを、必要最低限調べてまとめる(実施する)ことができる。 [B]…その授業や事象(実験)にかかわることを、ある程度調べてまとめる(実施する)ことができる。	ロイロノートの提出物 実験プリント 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど ※各テストは「知識・技能」の項目が評価項目に該当します。
	[S]…課題(問題)に対して、論点を明確にしながら記述し、他者に説明し納得してもらうことができる。 [A]…課題(問題)に対して、論点を明確にしながら記述することができる。 [B]…課題(問題)に対して、何らかの内容を記述することができる。	ロイロノートの提出物 実験プリント 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど ※各テストは「知識・技能」の項目が評価項目に該当します。
	[S]…振り返りや自己分析において、自分の現状を把握し修正をして調整することができる。 [A]…振り返りや自己分析において、自分の現状を把握し修正を考えることができる。 [B]…振り返りや自己分析において、自分の現状を把握することができる。	各振り返りの記録 追加課題 ロイロノートの振り返りと各提出物・テストの状況から判断します。

20

学習内容および評価規準（3年）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4 ～ 9	2 生命の連続性 1 化学変化とイオン 4 運動とエネルギー （一部後期）	中間 期末	知識・技能	[S]…その授業や事象(実験)にかかわることを、わかりやすく工夫し他者とかわりながら説明(実施)することができる。 [A]…その授業や事象(実験)にかかわることを、必要最低限調べてまとめる(実施する)ことができる。 [B]…その授業や事象(実験)にかかわることを、ある程度調べてまとめる(実施する)ことができる。	ロイロノートの提出物 実験プリント 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど ※各テストは「知識・技能」の項目が評価項目に該当します。
					[S]…課題(問題)に対して、論点を明確にしながら記述し、他者に説明し納得してもらうことができる。 [A]…課題(問題)に対して、論点を明確にしながら記述することができる。 [B]…課題(問題)に対して、何らかの内容を記述することができる。	ロイロノートの提出物 実験プリント 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど ※各テストは「知識・技能」の項目が評価項目に該当します。
後 期	1 0 ～ 3	3 地球と宇宙 5 自然環境や科学技術と私たちの未来	中間 学年 末	主体的に学習に取り組む態度	[S]…振り返りや自己分析において、自分の現状を把握し修正をして調整することができる。 [A]…振り返りや自己分析において、自分の現状を把握し修正をすることができる。 [B]…振り返りや自己分析において、自分の現状を把握することができる。	各振り返りの記録 追加課題 ロイロノートの振り返りと各提出物・テストの状況から判断します。

英 語	
予 習	① ノートに本文をなぞったり書いたりしてみよう。（１年生） ② 単語の意味や発音を確認しよう。
授 業	① 忘れ物はしないようにしよう。※忘れた場合は、事前に申し出ること ② 授業中は集中して取り組もう。 ③ 間違いを恐れず、たくさん英語を使おう。 ④ 積極的に言語活動に取り組もう。 ⑤ 英語のルールを守って、正しく英語を書けるようにしよう。
復 習	① 基本文や教科書、ワークの英文を音読しよう。（最低１０回または１０分） ② 英単語を発音しながら書けるように練習しよう。 （Practice→Test→Check→Practice サイクル） ③ 教科書 Scenes の英文や重要表現は正しく読んだり書いたりできるようになろう。 ④ 文法問題（プリントやワーク）に取り組もう。※取り組み後、必ず答え合わせをすること
発 展	① 目標を決めて、自主学習に取り組もう。 ② e ライブラリなどのデジタル教材を活用し、問題を解いてみよう。 ③ A L T に積極的に話しかけよう。 ④ 英語検定の問題を解いてみよう。英語検定試験に挑戦しよう。 ※佐呂間町は検定料が全額助成されます。 ⑤ 英語暗唱大会に挑戦しよう（２・３年のみ）。

学習内容および評価規準（1年英語）

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	
前 期	4	オリエンテーション Classroom English Get Ready PROGRAM 1	中 間 期 末
	5	PROGRAM 1 Step 1 PROGRAM 2	
	6	アクションコーナー PROGRAM 3 Step 2	
	7	Our Project 1 Power-Up 1 PROGRAM 4	
	8	PROGRAM 4 前期前半のまとめ	
	9	PROGRAM 5 Power-Up 2 PROGRAM 6	
	10	PROGRAM 6 Step 3 PROGRAM 7	
	11	PROGRAM 7 疑問詞のまとめ Power-Up 3 *チャレンジ Step 4	
	12	Our Project 2 PROGRAM 8 *後期中間テスト Power-Up 4 後期前半のまとめ	
後 期	1 2	PROGRAM 9 Step 5 Power-Up 5	中 間 期 末
	3	PROGRAM 10 Our Project 3 Power-Up 6	

評 価 に あ た っ て		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	○英語の音声、符号、語、連語及び慣用表現、文、文構造及び文法事項、言語の働きの理解 ○これらの知識を実際のコミュニケーションで活用できる能力	言語活動 小テスト 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト（面接・スピーチ・エッセイ等）など
	○英語による簡単な情報や考えなどの理解 ○理解したことを活用するなどして、英語で表現したり伝え合ったりする力	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト（面接・スピーチ・エッセイ等）など
思考力・判断力・表現力	○英語の背景にある文化に対する理解 ○聞き手、話し手、書き手への配慮 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト（面接・スピーチ・エッセイ等）など

学習内容および評価規準（2年英語）

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	
前期	4	オリエンテーション Program1 New Start	中間
	5	Step1 簡単な表現で言いかえよう Program 2 Koshien Project in Africa Power-up① 天気予報を聞こう Step2 魅力を伝えるためのコツを知ろう Program 3 Taste of Culture Our Project4	
	6	海外でヒットするラーメンのCMを作ろう	
		Reading① The Three Dolls Power-up② 電話をかけよう	期末
	7	Program4 Leave Only Footprints	
	8	Power-up③ レストランで食事をしよう	
	9	Step3 わかりやすい見出しをつけよう Program 5 Work Experience	
後期	10	Program6 High-Tech Nature Power-up④メールで近況報告をしよう Step4 相手にわかりやすい説明をしよう	中間
	11	Our Project⑤ 日本のおすすめスポットを紹介しよう	
	12	Reading② Friendship beyond Time and Borders Program7 Unique Animals Program 8	
	1	A Hope for Lasting Peace Power-up5 飛行機のアナウンスを聞こう Step5 説得力のある説明をしよう Our Project6	期末
	2	My Hero の魅力を伝えよう Reading③ Apollo 13	
		1年のまとめ	
	3		

評 価 に あ た っ て		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	○英語の音声、符号、語、連語及び慣用表現、文、文構造及び文法事項、言語の働きの理解。	言語活動 小テスト 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト (面接・スピーチ・エッセイ等)など
	○これらの知識を実際のコミュニケーションで活用できる能力	
思考力・判断力・表現力	○英語による簡単な情報や考えなどの理解。	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト (面接・スピーチ・エッセイ等)など
	○理解したことを活用するなどして、英語で表現したり伝え合ったりする力。	
主体的に学習に取り組む態度	○英語の背景にある文化に対する理解。	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト (面接・スピーチ・エッセイ等)など
	○聞き手、話し手、書き手への配慮。 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。	

学習内容および評価規準（3年英語）

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	
前期	4	オリエンテーション Program1	中間
	5	Japanese Bentos Are Interesting! Program 2 Good night. Sleep Tight. Step1 聞き上手になろう Program3 Hot Sport Today Power-up① 電車の乗り換え案内をしよう Step2 ポスターセッションの流れを確認しよう Our Project⑦ パラスポーツについて理解を深めよう Reading① The Meaning of Life	
	6		
	7	Step3 ディスカッションの流れを確認しよう	期末
	8	Program 4 Sign languages, Not Just Gestures	
	9	Program 5 The story of Chocolate	
後期	10	Power-up② ポスターから情報を読み取ろう Step4 ディスカッションで使う表現をおさえよう Program 6	中間
	11	The great pacific Garbage Patch Our Project 8 レストランに SDGsの取り組みを提案しよう	
	12	Power-Up③ ラジオのCMを聞こう Program7 Robots Can Improve Quality of Life	
	1	Power-up④ ウェブサイトで学校を紹介しよう Reading② Malala's Voice for the Future Special Project 中学校の思い出を残そう	期末
	2		
	3	入試対策 (Listening, Writing, Reading, Speaking)	

評 価 に あ た っ て		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	○英語の音声、符号、語、連語及び慣用表現、文、文構造及び文法事項、言語の働きの理解。	言語活動 小テスト 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト (面接・スピーチ・エッセイ等)など
	○これらの知識を実際のコミュニケーションで活用できる能力	
思考力・判断力・表現力	○英語による簡単な情報や考えなどの理解。	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト (面接・スピーチ・エッセイ等)など
	○理解したことを活用するなどして、英語で表現したり伝え合ったりする力。	
主体的に学習に取り組む態度	○英語の背景にある文化に対する理解。	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト (面接・スピーチ・エッセイ等)など
	○聞き手、話し手、書き手への配慮。	
	○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。	

音 楽	
準 備	① 授業が始まるまでに音楽室で着席していること。 ② 忘れた場合は事前に申し出ること。(リコーダーを忘れた場合は指だけの練習になります)
授 業	① メリハリをつけて授業に臨もう。 ② 一生懸命にやってみよう。
復 習	① 各実技テストに向けて家でも練習をしよう。 ② 筆記テスト前は教科書やプリントをよく確認しておこう。

学習内容および評価規準（1年音楽）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	オリエンテーション 校歌・楽典		知識・技能	☐ 曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 ☐ 曲の形式や特徴を捉え、歴史的背景との関りについて理解している。 ☐ 全体の響きを聴き取りながら他の声部と合わせて歌う技能を身につけている。 ☐ 器楽の音色や響きと奏法の関りを理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身につけている。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
	5	アルトリコーダー	実技			
	6	歌唱	実技			
	7	鑑賞「春」第1楽章 創作				
	8	合唱	実技			
	9	筆記テスト ※授業内でテストを行います。	筆記			
後 期	10	アルトリコーダー	実技	思考力・判断力・表現力	☐ 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ☐ 音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 ☐ 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
	11	鑑賞「魔王」				
	12	箏「さくらさくら」	実技	主体的に学習に取り組む態度	☐ 知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
	1					
	2	合唱	実技			
	3	筆記テスト ※授業内でテストを行います。	筆記			

学習内容および評価規準（2年音楽）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	オリエンテーション アルトリコーダー	実技	知識・ 技能	☐ 曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 ☐ 曲の形式や特徴を捉え、歴史的背景との関りについて理解している。 ☐ 全体の響きを聴き取りながら他の声部と合わせて歌う技能を身につけている。 ☐ 器楽の音色や響きと奏法の関りを理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身につけている。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
	5	歌唱	実技			
	6	鑑賞「交響曲第5番」	実技			
	7 8	合唱				
	9	筆記テスト ※授業内でテストを行います。				
後 期	10	アルトリコーダー	実技	思考力・ 判断力・ 表現力	☐ 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ☐ 音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 ☐ 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
	11	鑑賞「ボレロ」	実技			
	12 1	合唱				
	2	筆記テスト ※授業内でテストを行います。	筆記	主体的に学習に取り組む態度	☐ 知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
	3					

学習内容および評価規準（3年音楽）

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	
前 期	4	オリエンテーション アルトリコーダー	実技
	5	歌唱	実技
	6	鑑賞「アイダ」	
	7 8	合唱	実技
	9	筆記テスト ※授業内でテストを行います。	筆記
後 期	10	アルトリコーダー	実技
	11	鑑賞「勸進帳」	
	12 1	合唱	実技
	2	筆記テスト ※授業内でテストを行います。	筆記
	3		

評 価 に あ た っ て		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	☐ 曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 ☐ 曲の形式や特徴を捉え、歴史的背景との関りについて理解している。 ☐ 全体の響きを聴き取りながら他の声部と合わせて歌う技能を身につけている。 ☐ 器楽の音色や響きと奏法の関りを理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身につけている。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
思考力・判断力・表現力	☐ 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ☐ 音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 ☐ 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述
主体的に学習に取り組む態度	☐ 知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 筆記テスト プリント類記述

美 術	
予 習	① 次の時間に必要な教材、道具などは前日までに必ず準備し、不足している物については補充しておきましょう。
授 業	① 作業の説明、制作の注意点をしっかり聞くこと。 ② 制作には、集中して取り組むこと。 ③ 与えられた時間を考えて、計画的に作業を進めること。 ④ 道具は大切に使うこと。 ⑤ 刃物の扱いには十分注意すること。 ⑥ 人の制作のじゃまをしないこと。 ⑦ 机や床についた絵の具や、作業で出たゴミは責任を持って片づけること。
復 習	① 覚えるべき学習内容については、家庭で時間をかけてしっかり覚えましょう。
研 究	① 制作の参考となる資料・情報は、身のまわりにあふれています。日頃から、テレビ、CM、雑誌、ポスターなどを注意深く見て、記憶にとどめておきましょう。 ② 展覧会などには進んで足を運び、鑑賞の芽を養いましょう。 ③ 美しいものや良いものに目を向け、感動する気持ちを持ちましょう。 ④ 自分が目指す作品になるようじっくり取り組む姿勢を持ちましょう

★道具を忘れてしまうと作業ができないことがあります。持ち物をしっかり確認して、忘れ物のないようにしましょう。

★自分たちの授業の準備は自分たちです。教材によっては、準備が必要なものもあります。早めに美術室へ移動し、スムーズに授業に入れる準備をしましょう。

★作品制作の時間は限られています。ムダ話をしないことはもちろん準備や後片を早く行い、時間を有効に使いましょう。

学習内容および評価規準（ 1 年美術 ）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	○オリエンテーション		知識・技能	□形や色彩などの表現を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して制作できたか。	作品の完成度 配色の工夫 技法や用具の使い方の工夫 技法の理解 テスト
	5	○美術道具の使い方 鉛筆の使い方			□材料や用具の特性を考慮し、順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。	
	6	○見つめると見えてくる身近なものをデッサン ○色を学ぶ 「色彩の基本・仕組み」 ・色彩理論 ・ポスターカラーの使い方 ・技法について			□評価のポイントを理解し、より良い表現を追求できたか。	
	7	○デザイン 人工物自然物を使って ・平面構成			□鑑賞に関わる知識を積極的に学習することができたか。	
	8	・遠近法について		思考力・判断力・表現力	□対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したことから自分の表現したい主題を考えることができたか。	学習シート アイデアスケッチ 作品の工夫 構想 作品 美しさの表現方法
	9	テスト(授業の中で前期 1 回) ○刷って出会う楽しさ 一版多色版画			□主題をもとに構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができたか。	
					□評価ポイントを理解し、個性を生かした表現ができたか。	
後 期	10	○刷って出会う楽しさ 一版多色版画			□美術作品に親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさなどを感じ取ったり味わったりして、考えたことや思ったことを発表したり表現できたか。	
	11	○暮らしの中の工芸 木彫りスマホスタンド				
	12	○絵のなかをよく見ると鑑賞		主体的に学習に取り組む態度	□自ら意欲的に表現活動や鑑賞活動に取り組もうとしていたか。	授業準備 作品の組み方 課題解決に向けての姿勢 アイディアスケッチ 作品の提出 テスト
	1	○「文字っておもしろい」 ・レタリング・絵文字 ○様々な技法で描く			□忘れ物をせず期限を守り作品やプリントを提出できたか。	
	2	テスト 授業の中で（後期 1 回）			□美術に関する知識を意欲的に学習することができたか。	
	3				□自分の目標や課題を明確にし、振り返りやまとめができたか。	

学習内容および評価規準（ 2年美術 ）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	○オリエンテーション 美しいものを見つける		知 識 ・ 技 能	☐ 形や色彩などの表現を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して制作できたか。 ☐ 材料や用具の特性を考慮し、順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。 ☐ 評価のポイントを理解し、より良い表現を追求できたか。 ☐ 鑑賞に関わる知識を積極的に学習することができたか。	作品の完成度 配色の工夫 技法や用具の使い方の工夫 技法の理解 テスト
	5	○新鮮な視点でとらえる 一目で伝えるための工夫 ピクトグラム				
	6	○立体を描く 図法を使って				
	7	・透視図法について ・色彩について深く知る				
	8	○「浮世絵はすごい」 文化出合いがもたらしたもの				
	9	・浮世絵について テスト（授業の中で前期 1 回 ○アートガラス				
後 期	10	○アートガラス ○日本美術世界美術の歩み		思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力	☐ 対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したことから自分の表現したい主題を考えることができたか。 ☐ 主題をもとに構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができたか。 ☐ 評価ポイントを理解し、個性を生かした表現ができたか。 ☐ 美術作品に親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさなどを感じ取ったり味わったりして、考えたことや思ったことを発表したり表現できたか。	学習シート アイデアスケッチ 作品の工夫 構想 作品 美しさの 表現方法
	11	○寄木細工				
	12	○寄木細工				
	1	あの日を忘れない（ゲルニカ）				
	2	テスト 授業の中で後期 1 回				
	3					
				主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	☐ 自ら意欲的に表現活動や鑑賞活動に取り組もうとしていたか。 ☐ 忘れ物をせず期限を守り作品やプリントを提出できたか。 ☐ 美術に関する知識を意欲的に学習することができたか。 ☐ 自分の目標や課題を明確にし、振り返りやまとめができたか。	授業準備 作品の組み方 課題解決に向けての姿勢 アイディアスケッチ 作品の提出 テスト

学習内容および評価規準（ 3年美術 ）

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	
前 期	4	○オリエンテーション ・学びの探求と未来 ・時代を超えて美を探究する思い ・日本の伝統色	
	5	○「その1枚が人を動かす」	
	6	・伝えるポスター ・ポスターカラーの使い方 ・レタリング	
	7	○今を生きる私	
	8		
	9	○ルネサンスが目指したもの （鑑賞） テスト（前期授業の中で1回）	
後 期	10	○「今を生きる私へ」 ・自画像	
	11		
	12	テスト 授業の中で後期1回	
	1	○私のシンボルマーク 石を彫る篆刻	
	2		
	3		

評 価 に あ た っ て		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	☐ 形や色彩などの表現を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して制作できたか。 ☐ 材料や用具の特性を考慮し、順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。 ☐ 評価のポイントを理解し、より良い表現を追求できたか。 ☐ 鑑賞に関わる知識を積極的に学習することができたか。	作品の完成度 配色の工夫 技法や用具の使い方の工夫 技法の理解 テスト
	思考力・判断力・表現力	習シート アイデアスケッチ 作品の工夫 構想 作品 美しさの表現方法
主体的に学習に取り組む態度	☐ 対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したことから自分の表現したい主題を考えることができたか。 ☐ 主題をもとに構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができたか。 ☐ 評価ポイントを理解し、個性を生かした表現ができたか。 ☐ 美術作品に親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさなどを感じ取ったり味わったりして、考えたことや思ったことを発表したり表現できたか。	
	☐ 自ら意欲的に表現活動や鑑賞活動に取り組もうとしていたか。 ☐ 忘れ物をせず期限を守り作品やプリントを提出できたか。 ☐ 美術に関する知識を意欲的に学習することができたか。 ☐ 自分の目標や課題を明確にし、振り返りやまとめができたか。	授業準備 作品の組み方 課題解決に向けての姿勢 アイディアスケッチ 作品の提出 テスト

保 健 体 育	
授 業	① 周囲の安全に十分配慮をして活動する。 ② 各単元での注意事項を必ず守る。 ③ 体育の時間は、必ずジャージを着用し、運動に適した靴を履く。 ④ 見学するときは事前に申し出て、できることに対して積極的に関わる努力をする。 ⑤ 準備・後片付けは協力して全員で行う。 ⑥ 器具や用具は大切に使う。 ⑦ 話を聞ときは、必ず動きを止め、話す人に注目する。
復 習	① 保健では、教科書を利用し、要点をしっかりと整理しておく。 ② 学習カードを利用し、その日のうちに整理しておく。

学習内容および評価規準（1年保健体育）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前期	4	体づくり運動 体育理論 短距離走・リレー		主体的に学習に取り組む態度	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲がある。 ・健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度がとれる。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度がとれる。	参加状況 学習カード 単元テスト
	5	短距離走・リレー 走り幅跳び				
	6	新体力テスト バスケットボール 水泳 保健分野				
	7	水泳 バスケットボール 保健分野				
	8	ソフトボール				
	9	長距離走 マラソン大会 ソフトボール 保健分野				
	※単元のまとまりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。					
後期	10	柔道 マット運動 保健分野		知識及び技能	・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。 ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。	参加状況 学習カード 技能テスト 単元テスト
	11	マット運動 保健分野				
	12	バレーボール 保健分野				
	1	バレーボール 保健分野				
	2	スキー ダンス				
	3	ダンス バスケットボール				
	※単元のまとまりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。					
				思考力・判断力・表現力等	・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。	参加状況 単元テスト 学習カード 技能テスト

学習内容および評価規準（2年保健体育）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前期	4	体づくり運動 体育理論 短距離走・リレー		主体的に学習に取り組む態度	- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲がある。 - 健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度がとれる。 - 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度がとれる。	参加状況 学習カード 単元テスト
	5	短距離走・リレー 走り高跳び 保健分野				
	6	新体力テスト バスケットボール 水泳 保健分野				
	7	水泳 バスケットボール 保健分野		知識及び技能	- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。 - 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。	参加状況 学習カード 技能テスト 単元テスト
	8	ソフトボール 保健分野				
	9	長距離走 マラソン大会 ソフトボール				
		※単元のまとめりにテストを実施します。期末テストは行いません。				
後期	10	柔道 保健分野		思考力・判断力・表現力等	- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 - 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。	参加状況 単元テスト 学習カード 技能テスト
	11	跳び箱運動 保健分野				
	12	バレーボール 保健分野				
	1	バレーボール ダンス 保健分野				
	2	スキー ダンス				
	3	バスケットボール				
		※単元のまとめりにテストを実施します。期末テストは行いません。				

学習内容および評価規準（3年保健体育）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て					
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法			
前期	4	体づくり運動 体育理論 短距離走・リレー		主体的に学習に取り組む態度	・ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲がある。 ・ 健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度がとれる。 ・ 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度がとれる。	参加状況 学習カード 単元テスト			
	5	短距離走・リレー ハードル走 保健分野							
	6	新体力テスト バスケットボール 保健分野							
	7	バスケットボール ソフトボール 保健分野							
	8	ソフトボール							
	9	長距離走 ソフトボール 保健分野							
	※単元のまとまりごとにテストを実施しません。期末テストは行いません。								
後期	10	柔道 マット運動 保健分野		知識及び技能	・ 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。 ・ 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。	参加状況 学習カード 技能テスト 単元テスト			
	11	マット運動 保健分野							
	12	バレーボール 保健分野							
	1	バレーボール ダンス							
	2	ダンス バスケットボール バレーボール							
	3	バレーボール							
	※単元のまとまりごとにテストを実施しません。期末テストは行いません。								
				思考力・判断力・表現力等	・ 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・ 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。	参加状況 単元テスト 学習カード 技能テスト			

技 術	
予 習	① 次に習うところを読んで内容をつかんでおこう。 ② 技術科特有の用語が出てくるので、その意味を調べておこう。 ③ 実物（家庭用機械・電気器具など）をよく観察しておこう。 ④ 実習に必要な工具・用具は前日までに準備しておこう。
授 業	① 持ち物は、教科書・ワークノート・筆記用具 ② 先生の説明を良く聞こう。 ③ 実習のときの服装を整えよう。 ④ 工具や機械の取り扱いに気をつけよう。 ⑤ 作業の安全を確認しよう。 ⑥ 工具や教室の整理整頓を心がけよう。
復 習	① 正しい用具の使い方を振り返ろう。 ② 製作の順序を振り返ろう。 ③ 実習を通して、成功・失敗はなにが原因だったのかを振り返ってみよう。
そ の 他	① 草花の栽培や家庭菜園の手入れなどを家の人ともに行おう。 ② 家の機械や器具の修理や手入れを手伝って学習したことを活かそう。 ③ 自分で工作に挑戦してみよう。

学習内容および評価規準（1年技術）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前期	4	ガイダンス A 材料と加工の技術 1-1 生活や社会と材料と加工の技術 情報モラル教室		知識及び技能	○生活や社会で利用されている材料と加工技術の仕組みを理解しているか ○等角図や第三角法によって、適切な製図ができるか ○工具を適切に扱うことができるか。 ○図法を理解し製作図に従って、組み立て・接合・仕上げなどが適切に行われているか。 ○情報の表現などについて、原理や法則を理解できているか	作業学習 授業ノート 製作課題 製図 定期テスト ワークシート など
	5	1-2 材料を利用するための技術				
	6	金属の材料と加工の技術 プラスチックの材料と加工の技術 構造を丈夫にする技術 製図（等角図、第三角法）				
	7					
	8	※単元のまとめりにテストを実施します。期末テストは行いません。				
後期	9			思考力、判断力、表現力等	○材料と加工の技術に込められた工夫を読み取ることができるか ○材料と加工の技術をいかして、問題を見出し、課題を設定して解決しようとしているか ○よりよい社会をつくるために、材料と加工の技術を評価したり、新たな発想に基づいて、改良・応用しようとしていたりしているか ○情報の技術に込められた工夫を読み取ることができるか	作業学習 授業ノート 製作課題 定期テスト ワークシート など
	10	2-1 問題解決・技能（実習） 本棚制作				
	11					
	12					
	1					
	2	3 加工の技術のふりかえり				
	3	D 情報の技術 1-1 生活や社会と情報の技術 1-2 情報とコンピュータ 1-3 情報の表現と伝達 ※単元のまとめりにテストを実施します。期末テストは行いません。				
				主体的に学習に取り組む態度	○主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとしているか ○制作過程を振り返り、よりよいものになるように、改善・修正しようとしているか ○より良い社会をつくるために、材料と加工技術を工夫して創造しようとしているか	授業に取り組む様子 作業学習の様子 授業ノート ワークシート など

学習内容および評価規準（2年技術）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	B 生物育成の技術 1-1 生活や社会と生物育成 情報モラル教室		知識 及び 技能	○生活や社会で利用されている生物育成の技術の仕組みを理解しているか ○安全で適切な栽培ができて いるか ○エネルギー変換技術を理解 しているか ○安全で適切な製作ができて いるか ○情報モラルや知的財産、情報 処理について理解している か	作業学習 授業ノート 製作課題 定期テスト ワークシ ート など
	5	1-2 さまざまな生物育成				
	6	2 生物育成の技術による問題 解決 土おこし 生物育成の実習 3 これからの生物育成				
	7	C エネルギー変換の技術		思考 力、 判断 力、 表現 力等	○生物育成やエネルギー変換 技術に込められた工夫を読み 取ることができるか ○生物育成やエネルギー変換 技術をいかして、問題を見出 し、課題を設定して解決しよ うとしているか ○よりよい社会をつくってい くために、生物育成やエネル ギー変換の技術を評価した り、新たな発想に基づいて、 改良・応用しようとしていた りしているか ○情報モラルや知的財産保護 に込められた工夫を読み取 ることができるか	作業学習 授業ノート 製作課題 定期テスト ワークシ ート など
	8	1 - 1 生活や社会とエネルギー 変換の技術				
	9	1-2 エネルギー資源の利用 1-3 電気の利用 1-4 運動の利用 ※単元のまとめりにとてテ ストを実施します。期末テスト は行いません。 2 エネルギー変換の技術によ る問題解決				
	10	3 これからのエネルギー変換 の技術 LEDブレッドライト制作				
	11	D 情報の技術				
	12	1-4 情報セキュリティと情 報モラル				
後 期	1	エクセル演習 ※単元のまとめりにとてテ ストを実施します。期末テスト は行いません。		主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	○主体的に技術を理解し、技能 を身に付けようとしている か ○制作過程を振り返り、よりよ いものになるように、改善・ 修正しようとしているか ○より良い社会をつくってい くために、生物育成やエネル ギー変換の技術を工夫して 創造しようとしているか	授業に取り 組む様子 作業学習の 様子 授業ノート ワークシ ート など
	2					
	3					

学習内容および評価規準（3年技術）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	D 情報の技術 2-1 双方向性コンテンツによる 問題解決 情報モラル教室		知識 及び 技能	○情報の技術を理解しているか ○安全で適切なプログラムの 製作ができているか ○エネルギー変換技術を理解 しているか ○安全で適切な製作ができ ているか ○デバック（不具合の改善）を することができるか	作業学習 授業ノート 製作課題 定期テスト ワークシート など
	5					
	6 7 8					
	9	3 これからの情報技術 ※単元のまとめりとともにテスト を実施します。期末テストは行い ません。		思考力、 判断力、 表現力	○情報の技術をいかして、問題 を見出し、課題を設定して解 決しようとしているか ○よりよい社会をつくってい くために、情報の技術の評価 したり、新たな発想に基づい て、改良・応用しようとした りしているか	作業学習 授業ノート 製作課題 定期テスト ワークシート など
後 期				主体的 に学習 に取 組む 態度	○主体的に技術を理解し、技能 を身に付けようとしている か ○制作過程を振り返り、よりよ いものになるように、改善・ 修正しようとしているか ○より良い社会をつくってい くために、情報の技術を工夫 して創造しようとしている か	授業に取り 組む様子 作業学習の 様子 授業ノート ワークシート など

家 庭	
予 習	① 実習があるときは、教科書などのほかに実習道具も忘れ無いよう準備する。 ※忘れ物をした場合には事前に申し出ること。
授 業	① 授業中集中して話を聞き、しっかり取り組む。 ② 実習時、準備・後片付けは協力して全員で行う。 ② 実習時、話を聞き注意事項を守る。
復 習	① 日常生活の中でも、衣・食・住に関心を持ち、よりよい生活の工夫を身につけよう。 ② 習ったことを生かして家事の手伝いを積極的に行い、生活技術を身につけよう。

学習内容および評価規準（ 1 年家庭 ）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	A 家族・家庭生活 1、自分の成長と家族・家庭生活		知 識 ・ 技 能	●生活に必要な基礎・基本的な技術を身につけているか。 ●生活と技術とのかかわりについて理解し、基礎・基本的な知識を見つけているか。	実習の様子 筆記テスト プリント類記述
	5	B 食生活 1、食事の役割と食習慣				
	6	2、中学生に必要な栄養を満たす食事		思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力	●生活について見直し、課題を見つけ、解決を目指して自分なりに工夫し想像しているか。	実習の様子 筆記テスト プリント類記述
	7	3、さまざまな食品とその選択				
	8	4、日常食の調理 ※単元のまとめりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。				
後 期	9			主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	●授業に集中して、意欲的に取り組んでいるか。 ●生活や技術について関心を持ち進んで実践しようとしているか。	授業の様子 振り返りシート 筆記テスト 実習の様子
	10	4、日常食の調理				
	11	5、地域の食文化				
	12	生活の課題と実践				
	1					
	2	6、献立づくり				
	3	7、持続可能な食生活をめざして ※単元のまとめりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。				

学習内容および評価規準（ 2年家庭 ）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学 期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前 期	4	C 消費生活・環境 1、家庭生活と消費		知識・技能	●生活に必要な基礎・基本的な技術を身につけているか。 ●生活と技術とのかかわりについて理解し、基礎・基本的な知識を見つけているか。	実習の様子 筆記テスト プリント類記述
	5	2、購入、支払いと生活情報				
	6	3、消費者被害と消費者の自立 4、持続可能な社会		思考力・判断力・表現力	●生活について見直し、課題を見つけ、解決を目指して自分なりに工夫し想像しているか。	実習の様子 筆記テスト プリント類記述
	7	B 住生活 1、住まいのはたらきとこちよさ				
	8	2、安全な住まいで安心な暮らし				
	9	3、持続可能な住生活をめざして				
後 期		※単元のまとまりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		主体的に学習に取り組む態度	●授業に集中して、意欲的に取り組んでいるか。 ●生活や技術について関心を持ち進んで実践しようとしているか。	授業の様子 振り返りシート 筆記テスト 実習の様子
	10	B 衣生活 1 目的に応じた衣服の選択				
	11	2 日常着の手入れと保管				
	12	3 生活を豊かにするものの製作				
	1	4 持続可能な衣生活				
	2	※単元のまとまりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。				
	3					

学習内容および評価規準（ 3年家庭 ）

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	
前 期	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
後 期	10	A 家族・家庭生活 2、幼児の生活と家族	
	11	3、幼児とのかかわり	
	12	4、家庭生活と地域との関わり	
	1	5、持続可能な家庭生活	
	2	※単元のまとまりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。	
	3		

評 価 に あ た っ て		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	●生活に必要な基礎・基本的な技術を身につけているか。 ●生活と技術とのかかわりについて理解し、基礎・基本的な知識を見つけているか。	実習の様子 筆記テスト プリント類記述
	●生活について見直し、課題を見つけ、解決を目指して自分なりに工夫し想像しているか。	実習の様子 筆記テスト プリント類記述
思考力・判断力・表現力		
主体的に学習に取り組む態度	●授業に集中して、意欲的に取り組んでいるか。 ●生活や技術について関心を持ち進んで実践しようとしているか。	授業の様子 振り返りシート 筆記テスト 実習の様子